

第6回リカジョ育成賞 講評

【リカジョ育成賞 グランプリ：トロフィーと副賞50万円 1校】

●高知県 高知工業高等専門学校：

理系への進学を志す女子児童・生徒の増加をねらった、高専女子会組織の活動である。リカジョを増やすことに加え、活動している高専女子学生のキャリア教育にも寄与している実質的な活動として評価する。40名もの学生が学年を横断して主体的に活動に取り組み、その活動や成果を公表する過程を通して成長している様子が報告書から読み取れる。また、女子学生ならではの発想で女子中学生を引きつける実験内容を検討している点も高く評価できる。

【リカジョ育成賞 準グランプリ：トロフィーと副賞30万円 2校】

●大阪府 大阪公立大学理系女子大学院生チームIRIS：

大学の支援のもと、理系女子大学院生チームが主体となり、地域の小中高を対象に実験教室や講演会、交流会を行うリカジョ育成活動として評価する。新たなりカジョ育成だけでなく、大学院生のキャリア育成にも寄与している点や、長年にわたり継続して活動している点、講座等の参加者を小学生、中高生に分類してその成果を整理し、さらには保護者の声も拾って事業展開しているなども高く評価できる。

●東京都 国立大学法人お茶の水女子大学理系女性育成啓発研究所：

女子中高生を対象にした進路選択支援として多様な取組が行われており、参加者の理系への関心度に合わせて企画が設定されている点などを評価する。各取組みの位置づけが整理されており、それぞれの取組みの方向性がぶれずに一貫している点も評価できる。全体の参加者数も多く、効果も大きいと判断する。また、事業の評価も丁寧に行われている。専門家集団の取組みであり、他で同様の取組みを行う組織の参考となるよう、リカジョ育成に効果のある取組み内容を広く広報していただきたい。